

災害列島

台風一過の近畿・能登、北海道大地震で危害を受けた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

災害の状況が明らかになるにつれて基本的な弱点・見えない問題点があぶり出されて来ています。想定を簡単に超える現象です。

私は単独登山が趣味です。結果は全て自己責任ですが

ら、入るときは複数のラインの最低限を装備します。一瞬の油断や想定外は直、ケガと遭難です。

我国を鍛えるため試練を与え、コスト優先のエネルギー・インフラの脆弱性を災害の「絶対的力」で、あぶり出し試すのでしよう。

現在家計に占める食料品の金額割合は、2005年を底に食料品と光熱費が、10%を超える上昇です。この間消費者物価は3.3%の上昇でしたが二桁の上昇、これは吐出しています。

打撃を最も受けるのは低所得者や高齢者世帯で、家計を直撃しています。

生鮮魚介類はこの間23.0%平均価格の上昇でしたが、購入数量は35.5%のマイナスになっていきます。生鮮肉は2.8%の価格上昇に対して購入数量は1.9%も伸びています。

この10年間で食料品の支

格は、国際商品市場の影響を受けますので、景気や金融政策から離れて決まってくる。

インゲル係数の上昇は、コストプシユ・インフレの影響で現れます。

他に回る購買力を奪っていきますから、当然にデフレ傾向を強めます。

日銀の政策、2%目標がいつまでも達成できないのは、コストプシユ・インフレの作用で、実質の購買力を減殺しているのです。

円安になって輸入物価が上昇して、家計の実質購買力は下がっていくことになっているのです。

現在無職世帯が3%台に迫っており、年金制度は物価に対して年遅れのスライド制度と、年金支給額の固定的なことに、何ら問題はないのでしようか。

トランプは、小学校5年生並みの理解力しかないと側近に書かれています。アベ氏は追隨する危険を理解されているのか心配です。

戦後マッカーサーから、日本は小学生並みと揶揄されましたが、お互い様です。

圧倒的権限を持つトランプとアベも、同じ災害でしようか。

きと楽しそうにレンガを積んでいる別の男に出会いました。

旅人はその男に向かって「ここで何をしているんですか?」と問いました。

その男は「みんなが集まり、幸せになれる家を作っているんだ。素晴らしいだろう!」と嬉しそうに顔で答えました。

利他の目標

旅人がある街に向かう道を歩いていると、一人の男が辛そうにレンガを積んでいました。

旅人はその男に向かって「ここで何をしているんですか?」と問ってみました。

その男は「見ればわかるだろう。レンガを積んでいるのさ。」と答えました。

もう少し歩き続けるこ一生

またしばらく歩くと生き生

